津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木村
電話（津奈木）24番
編集人　岡松　壮
印刷所　緒方印刷所
八代市通町
電話（八代）（代）3118番

よろこびに湧く国道開通

皆様の御協力で　トンネル521米も完成

津奈木村長　斎藤亀齢

道路は文明のバロメーターと言われている様に其の完否が地域社会に及ぼす影響の重大なるは今更申すまでもございません。

然るに当芦北、水俣の地は支那の幽谷関、我国の箱根山と並び称せらるゝ程の天下の峻、三太郎を以って隔絶され文化、産業、教育の進歩実に遅遅たるものがございました。

かかる障害を取り去ろうとして、明治三十七年旧国道の貫通を見、西南戦役において、さしもの薩摩隼人をなげかしめた旧山道も不用となり、唯参勤交替はなやかなりし幕府時代島津氏の大名行列をしのぶ古老の語り草となってしまいました。

旧国道は我国、国道の幹線として五十年に余る貢献は、大文豪徳富蘆花の「死の陰」に描かれる駅馬車時代から、エンジンの爆音高き自動車時代と変り、加うるに紆余曲折百ケ所以上の急カーブは現代交通網の最難所として、通行人の肝をひやゝさせたものでございます。

いまして、国鉄幹線鹿児島本線の開通と共に新道路の開通は一層強くさけばれたようでございます。

そこで県知事を会長とし地元市町村長を基幹とする三太郎国道期成会は、地元出身代議士県会議員の指導後援を得て強力なる運動を展開したのでありましたが、幸にして本日ここに御臨席の、当時の参議院議員深水六郎氏を始め地元代議士田中県議の御熱意によりいよゝ一級国道三号線ぞ佐敷赤松両トンネルはもとより八代水俣間六十粁の改修決定を見るに至ったのでございまして、此の吉報が伝わるや関係者はもとより地域住民の喜びは実に言語に絶するものがございまして、手の舞い足の踏む所を知らない状態でございました。其の後工事は順調に進みさしもの難所津奈木トンネル五二一米本日ここに開通式の運びに至ったのでございますが、この開通により坦々とつづく八米道路は現代交通科学の結晶としてその機能を発揮し時間にしても旧国道の二分の一に短縮されました。

また沿道は景観に富み特に老松亭々とそびゆる千代塚は肥後二十四孝の随一、老女千代をまつってあります。

これは文豪徳富蘇峯御一族の民風作興の精神を永久に伝える絶好の場所でございます。

産業方面では柑橘の適地として近年農業構造の改善を見柑橘王国の機能を発揮し時間にしても旧国道の二分の一に短縮されました。

また沿道は景観に富み特に老松亭々とそびゆる千代塚は肥後二十四孝の随一、老女千代をまつってあります。

これは文豪徳富蘇峯御一族の民風作興の精神を永久に伝える絶好の場所でございます。

産業方面では柑橘の適地として近年農業構造の改善を見柑橘王国の名をほしいままにする日も近いと信じてうたがいません。

しかるに津奈木トンネルは三太郎の中の一太郎のみの開通で外に佐敷赤松の二太郎が存するのでございまして其の工事は着々の緒についているのでございますが、やゝもすれば、都心に遠い地方においてはその目標がうすれゆくきらいがある様でございますのでどう国道三号線八代水俣間其れをつなぐ連絡道路及び延長道路の完成にも格段の御尽瘁を賜わるよう国会建設委員長、九州建設局長、県知事を初め御臨席の皆様のでございまして、此の吉報が伝わるや関係者はもとよりここに地元を代表いたしまして御礼とお祝の辞を申述べます。

（上）副知事のハサミ入れ
（下）祝賀会場津中体育館

▲ドイツ人の下駄

靴下には右左はないが、足袋には右左がある。由来ドイツ人は物ごとを合理的に考えるところから親指が足の端にある以上、鼻緒が下駄の中央にあるのはおかしいと、下駄の端に鼻緒をつけた左右足別の下駄を作って日本に売り込んだとか、これは合理的な考え方の失敗談であるが。

岩盤重

▲鉛筆の場合

書きそこないを、一々消ゴムをさがして消していては面倒なので、考えたのが消ゴム付鉛筆である。円い鉛筆はゴロゴロころんで、机から落ちたり芯を折ったりするので、その欠点をおぎなったのが三角、六角鉛筆である。

▲お客になったつもりで自分の家を見て見る

先ず家までの道はどうか。水たまりはないか。草はよくむしってあるか。歩きにくくはないか。玄関は きれいか。座敷、床庭、便所、炊事場など批評的に観ると、今まで気ずかなかった欠点が浮かんでくる。

▲批判的態度、第三者的態度

なれてしまえば善悪長短は見えない。更に進めば愛情がわきアバタもえくぼに見える。顔中ひげだらけになってる。「見苦しいだろう。」何ケ月そらないか？など考えない間は問題はない。たまたま鏡をとって見て「山賊みたい、いっそのこと鼻ひげでも立てようか」となった時、自分を自分が見たことになる。

▲農業然り

本年は史上最上の大豊作という。しかし最近は毎年毎年豊作の連続であるのは何故だろう。天候ばかりのセイではなかろう。これは栽培に、改善につゞ改善を加えてゆくからだと思う。保守的ということは農民の代名詞みたいにいわれてきたがもう振りすてて、仕事の内容を常に第三者的観方で観るべきではなかろうか。

▲日に三たびわが身を省（かえり）みる。

「論語読みの論語知らず」の論語に、「われ日に三たびわが身をかえりみる、……」とある。これは昔の聖人の話しと見送らずに「われ仕事のために汗を流しだか、人のために涙を流したか親に不幸はなかったか」などと毎日反省したいものである。

カニは何千年たっても横にはうことを改めない。石橋をたたいて渡るというが、たたきもしない人あり、たたいて渡らぬ人あり。

郷土めぐり

郷土のほこり　深水玄門先生（六）

千々岩頼母

玄門さんは医業こそ自分の天職であると し、之に精魂を打ちこみ精進され以て人を救い世を救わんとの其の念願と実行とは後人の心をうつものがある。

玄門さんの其の生活の根底に孝道のあった事を忘れてはならない。津奈木に由来孝子節婦の多く出たのも徳富、深水家等の指導的立場の方々の感化薫陶の然らしむるところかとも思われる。玄門さんは親孝行の方であったばかりでなく亦世の人に孝行を説きすゝめられている。

津奈木千代塚の孝女千代の碑（四角な碑之には徳富多太七、全成十郎、深水玄門、徳永栄蔵の名が示されている）山鹿の鍛冶孫次郎の孝子碑、天草今泉の孝子喜太郎の碑等から考えても其の一端が伺われる。

玄門さんは結婚される時新妻に達戒七ケ条を示された（原文のまま）

第一老祖母様に心力の及ぶだけ孝養を尽し呉れ申すべく候事

第二霊前の御奉公深切に誠を以て事へ奉り申可候事

第三兄弟睦く相交り骨肉よりも厚く少くも偏る心なく互に育あい候事老祖母様に孝養の始にて之有候事

第四夫に対し何事にても指図らし き事申べからざる事

第五内外の事聊の事にても一々老祖母様御尋御申上候ても一々仰順万々一自身の気に叶い申さず候事有とても面持うららかにしてうれしくうけて仰に順い呉申すべく候事

第六たとい夫は気に叶はず而も老祖母様に能く事へ奉り御気に叶い候はゞ決して離縁致間敷たとい夫婦の間親くゝ之有候ても老祖母様の御気に叶ひ申さず候はゞ離縁致し候事

第七朝は早く起き老祖母様の御機嫌を伺奉り御寝床を掃い御手水の湯並に御茶を奉り御食物尽すもおこたりなく相勤め最早御老体の事にて候へば御病気にても之有候節も昼夜心を尽し御菜食共々深切に御介抱申上呉べく候硬く願入候事右七ケ条朝夕心にかけ怠るべからざる事

六月廿七日　玄門

之によって見ても如何に孝行第一に専念されたかゞ伺われる。

今日時変り其のまゝの適用は如何かとも思われる節もあるが其の心の存するところを味い度いものである。夫人も亦よくゝを守る事六十余年其の内助の力亦大なるものがあった。

税務署だより

税務署では納税者の声を待っている

八代税務署では税務の仕事を民主的かつ適正に行ない納税者の皆さんが、気易い気持で出入りができ気易く話合ができるようにしたいため納税者の皆さんの声を聞いて反省し仕事の参考にもしたい目的で十一月一日から十日までの間「納税者の声を聞く旬間」を設けて、この間に税務署長の納税者宅訪問、納税者の声を聞く会の開催、税務に対する苦情相談所の開設、税務署見学者に便宜供与等各種の行事を行うこととしている。税務署に対する苦情の相談や御意見の拝聴には税務署長を始め関係課長が直接応待することとなっているのでこの旬間をどし どし利用していただくよう希望している。

やみ酒を追放しましょう

生きるために、闇米を買いあさっていた時代はとも角あれから十七年もたって、いまだに闇と名のつく酒があると云うことは何と情ないことではありませんか。

今、全国一せいにやみ酒の追放運動と併行して取締を実施しております。この機会に、どぶ酒や手づくりのぶどう酒などのやみ酒を私達の周囲から追放しようではありませんか。

郷土の人

津奈木郵便局長、千々岩頼母氏が去る六月を以て退職され後任に、竹永俤人氏が就任された。

◇学校便り

赤崎小学校

第五回NHK全国図画コンクール九州地方入選

八月廿六日　林田金徳（四年）

津南中学校

芦北郡英語学芸会

対話の部

第一位　三年　川崎清一郎

〃　広瀬　光盛

暗誦の部

第二位　二年　吉野　国昭

◇訃　報

次の方々が他界されました謹んで御冥福をお祈り致します。

部落	死亡者	世帯主	
大泊	真野熊八	要	
町中	白浜　巌	哲哉	
内野	山下アサノ	米作	
川内	平松力セ	龍義	
日当	伊藤セイ	美則	
日添	林田テノ	鷹	
大泊	柳迫順太	マサ	
中尾	山本常喜	マスエ	
日添	篠原ユリ	豊	

告知板

寄附

金壱万円也

津奈木村消防団へ故福村シツメ様の香典返しとして御寄附下さいましたが、先号にもれましたので追加致します。

秋・あき

アキ巣がねらっている

「だから云ったおやないか……」と叱られてもどうぼうに入られてからではあとの祭です。

これから愈々農繁期に入りますが増えてきますのがあき巣ねらいと云うやっかいな犯罪です。

親鳥のいない巣から卵を盗むヘビのように留守の家をネラウからこんな名がついたのでしょうか。

着物一枚靴一足でも盗まれたときのくやしさったらありませんがとかく日ごろの用心が大切ではないでしょうか。

アキ巣が留守にやってきた行きは良い良い帰りはらつい帰って見ればやられてた

泥公が留守に来てござるめぼしいものはサヨナラしサイフもカラッポ腹もペコカカアはムクレル子供は泣くし頭かゝえて考えりゃ隣りに頼むの忘れてた鍵をかけるの忘れてた

銃砲刀剣類所持取締法の一部改正

銃砲刀剣類等所持取締法の一部が次の様に改正されましたのでお知らせします。間違いのない様に協力方をお願いします。

1 飛び出しナイフは所持出来なくなりました。

2 銃砲刀剣類の所持許可年令が改正　今迄十四才迄良かったのが十八才以上でなくては空気銃等の所持許可はされません。

以上二点については但し書きがありますので詳しい事は駐在所へお問合せ下さい。

3 刃物の携帯禁止　あいくちに類似する刃物に限らずこれと同様危険性を有するもので刃の長さが6センチメートルをこえる刃物は業務その他正当な理由がある場合を除いては携帯できなくなりました。

水俣警察署

放談

屁という字

そろく甘藷のシーズンに入って若い娘さん大喜びと思いきや、さにあらず。

この間中尾の一本木に行ったら早掘りのからいもを沢山下さったので持ち帰り職員にゆでてもらいおやつに配ったら、女子職員に敬遠された。魔可不思議、駿優で新からいもぐらい美味しいものはない筈なのに。

川柳にも「嫁の屁ばかゝとこの下で押し潰し」と皮肉っているが悲壮感さえ起る。

昔伯耆の国に財閥で福助という人がいた。剣逸洒達で諸芸百般に通じ、時の大名にこよなく愛されたが諸芸の中、とくに傑出し比類を見なかったのは放屁による音曲の吹き分けで端唄小唄の類から俚謡民謡まで演じたというから大した名人芸である。

この屁について文献を調べて見たが、どうも判らない、字源に「おなら、腹中にある気の下って肛門より泄れるもの」とだけあった。

医学上から論ずるのは別として屁専門の博士もないので、私の学説を発表すると、屁という字の「尸」は、し、と読み空しさを意味する。

尸位、即ち空しくこの位にいること、尸位素さん、空しく録を食み位に居りてその責を果さないこと又冕と書いて「しかばね」とも読み、人死して未だ葬らざるもののことでもあるが、煎じつむれば人が横に寝たことの形容詞である。

次に「F」の下につく「比」は「ビ」と音読し濁音になると「ビー」になる。

人が横に寝てビーと音を発すること即ち「屁」とはこれ如何。

今月の納税

保険税　三期
固定資産税　三期

十一月三十日
十二月二十日

遺徳を偲んで

故斉藤藤吾村長胸像建立

村政史上不滅の功績を遺した故齊藤藤吾村長の顕彰

▽……胸像の建立と伝……△
▽……記のへんさんに……△
▽……趣意書要項によ……△
▽……り御協力下さい……△

説館

「農業経営の真の道しるべ」それは最近大きく叫ばれている「農業の近代化」撰択的拡大による「自立農家の育成」ということである。

農業基本法の制定にちなんで、農協法、農地法の一部改正に、農地信託法とか、法人組織生産組合共業経営共同施設共同耕作などと近代化へ乗り出す手段方法は作られたが、零細な規模の農家において大農式の形態へもってゆくには難所があるようである。

話題となる土地の交換分合、農地信託、共同施設や共同防除と云うは安いが、実行となると六ケしい点が横たわっている。

その六ケしい点を解いてくれるものが、人の心の結ばりである。

先進部落では、指導者の熱と共同のもとに面白く実現されている。とにかく強烈な共同心がなければ実現は期せられない。

近代化即ち企業経営へ、農林省は数百億を融資して、これに助力することとなった。この企業資金を導入し、企業化にのり出した人も沢山ある。

しかし未だに「封建的な百姓より大丈夫なものはない」という思いにふけっている人はないだろうか。

今こそ真の共同心をふるいおこし、近代化から取残されぬよう覚悟すべきである。そして共同の喜びを得たいものである。

この際村も部落も家も、経営法を変革すべき時である。よろしく本村でも一年でも早く、構造改善パイロット地区の指定を受け、村民こぞって七ケ々農業の経営へと進みたいものである——特に本村の如き零細農家の行先が案じられるがゆえに——

教育土木と着々整備された本村も、この際農業の近代化へ大いなる活動を期待するものである。

農業の近代化と零細農家

前村長顕彰　趣意書

故斉藤々吾村長が村政史上不滅の功績をのこし村民痛惜のなかに死去されてから既に一年有半歳。しかし吾々はいつまでもその温容と御治績を忘れることは出来ません。

村議会に於ては前村長遺徳顕彰委員会を設け同氏の徳を、来世まで記念すべき方法を研究検討の結果

一、胸像を村役場玄関前に建立すること。

一、伝記を編さんすること。

に決定し胸像の製作には彫塑界に著名な、日奈久出身の田島亀彦先生を、伝記の編さんは千々岩頼母先生を委員長とし伝記編さん委員会を設け、執筆を依頼してあります。

つきましてはこれらの総経費約六十六万円を要する見込で、この顕彰費の一部に村民の方々の真心を加えて貰ってはとの申出でもありますので、御厚志にこたえるため左記の要領により任意寄附を御願いすることと致しました

御寄附受付期間
自 昭和三十七年十月廿五日
至 十二月廿七日
受付場所　津奈木村公民館
金額　百円以上

御寄附はあくまで御任意ですが整理の都合上、百円以上と致しました、御了承願います。

尚胸像の模型は上図の通りです。敢えて大方各位の御清鑑により御賛同を賜ります様御願い申上げます。

昭和三十七年十月二十日
故斉藤藤吾氏遺徳顕彰委員長
福村広人

住民登録法施行十周年記念の村勢調査を省みて

一、住民登録法が施行されましてから十周年になりますが現在では政府の各法律にもまだ横の連絡が少なく一本立の状態が多く住民票におきましても登記書類、国民年金関係書類に添付する位いの他警察関係の書類に添付する位いのものでありますが各市町村ではこれ程利用価値のある簿冊は他にないと言っても過言ではない大切な簿冊であります。それはこの法律を施行された目的から言っても解りますように

1、住民の居住関係を公証し、その日常生活の利便を図る

2、常時人口の状況を明らかにして各種行政事務の適正で簡易な処理に資する

こんな事を目的として作られた法でありますので本年から基本選挙人名簿等も住民票によって作製されるようになる模様でありまして政府としましてもこれから横の連絡を持たせよう次々に今までの法律の一部改正を実施しつつあります。

二、今年の八月一日現在で調査しました現住世帯人口は左記の通りでありまして七月末現在の世帯人口と比較しその差や調査によって役場で取扱った件数を計上して見ますと次の通りであります。

八月一日現在で一斉調査した世帯人口
世帯数　一六一二　人口八〇一四

七月末日現在の世帯人口との比較
世帯数　減　一八世帯
人　口　減　四七四人

調査により取扱った件数調
職権消除
世帯数三四　人口　四九八
未登録者
世帯数　九　人口　五一
通知による消除数
世帯数　四　人口　二七
転入届　三二件
転居届　一一〇件
変更届　八一件
地番訂正　四三件

三、これは村民の皆さんが全部届出をされなかったとは申しませんが大部分がさうでありまして事実との差異がお解りになった事と思います。

1、戸籍法では出生、死亡、家庭裁判所の審判があった時の他は届出期間を定めてありませんが

2、住民登録法では第二十二条（転入）第二十三条（転居）第二十四条（変更）で十四日以内に必ず届出をしなければならないと規定してあります。

これを正当な理由がなくて期間内に届出をしない者には罰則も定められてありますし、最近には監督官庁から期間内に届出をしない者は容赦なく摘発せよとの文書も来ておりますので今後充分御留意の上必ず届出をするようお願い致します。

第十五回村民体育祭

津南中学校グラウンド

◎津奈木町のはしり

まあたらしいテント二張りが、大きくピンと張られて、恐らく部落全部の総出であろう、人の山——。部落の張りった心意気が感ぜられる。テントには、「津奈木町中尾」と書かれてある。古くさい村の感覚をふりすてて、町となって新しく生れかわろうというのだろう。

◎年毎に向上

村民体育祭はレクレーションとスポーツの振興に目的があるのだが、同時に社会道徳を訓練する機会でもあると思う。そのことで年毎に向上しているといいたい。

考えてみるに、村民体育祭より外には村民の社会道徳を向上させるよい機会はない。即ちやってよいことやってならないことを、きまりによって、けじめをつける機会はこの日だけである。それが年々よくなっているようだ。

◎たとえば

「他人に迷惑かけぬように」という心づかいから、進行がよくゆくようになっている。「年令の間違い」も年々へって、今年なんかは無いといってよいくらい「公共物を大事にする」こともそうであるとくに、自分の部落の選手が走るときやうえんの熱烈さは、よそのものでなければわからない。平素のすべてのわだかまりも忘れて部落全員が一つ心になるところに村作りの根本がひそんでいる。

また、選手がかえってくると、みんなが拍手をもってむかえるのも心あたたまる。

◎美人になるには

美人が選手になるのか、選手になる人が美人か、美容体操というのがあるくらいだから、スポーツはたしかに美人になる力ギをもっているのだろう。

◎婦人会のゆうぎ

前もって、ゆうぎに出場のことは知らなかったのでおそらくインスタント遊戯だろうと思ったがなかなかりっぱであった。それよりもおどろいたことはその人数である。一二〇人の大部隊。ちょっと呼びかけてこのくらいだ。婦人会のまとまりの力に今更ながら感心した。

◎青年団の資金カンパ

本村の青年団のコーラス部が、熊本県の代表にえらばれたのは去る九月、二十人の部員が、十一月十四日より東京で行われる全国総合青年祭に出席の費用を、少しでも自分たちでかせごうと、小学校の運動会や村民体育祭に、氷菓子や果物などを売った。

◎いわゆる村民体育祭

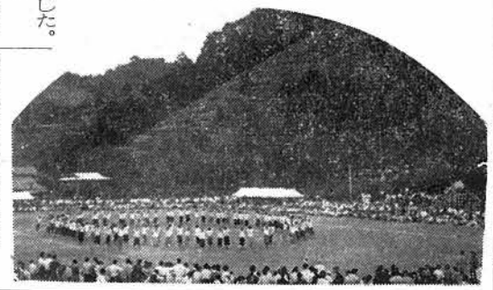
村民体育祭というからには、村民の全部が出なければならない。町中の腰のまがった壮者沢田豊喜さんが選手として出られたのにはおどろいた。これでこそと思った。

今年の大会は色々の点から採点して九十五点の成功というべきか

当日の成績次のとおり

仮装行列
一位　竹中　オリンピック大会入場式
二位　倉谷　村作り
三位　平国　郷土の華孝女千代
町中　前村長の夢
染竹　染竹少女歌劇団

一位　竹中　一〇〇点
二位　日添　九三点
三位　新川　九一点
四位　倉谷　八七点
五位　古川　八一点
六位　染竹　七一点
七位　町中　六九点
八位　中尾　六六点
九位　上下門　六四点
十位　平国下　五六点
以下省略



津南中学校　陸上に優勝

十月二十四日湯浦中学校で行われた郡中体連陸上大会で、津南中は次の成績で優勝した。

一等　津南中　一二一点
二等　佐敷中　一〇九点
三等　湯浦中　九六、五点
四等　田浦中　八六、五点
五等　吉尾中　五三点
六等　大野中　三六点

カヌー選手出発

柳迫義治君と吉野信篤君は、滋賀県大津市県営漕艇場で行われる三十七年度日本カヌー選手権大会出場のため、十月三十日出発した帰りは十一月五日の予定

県代表として来る十一月十四日より同十七日まで、東京都日本青年会館で行われる文部省主催の全国青年大会に出場するため十二日出発する。氏名次の通り

草野　格　多武継義
西　忠温　矢野元雄
緒方　門崎敬一
岩瀬ちえ子　小笹美
奈子　緒方靖子
田上トシ子　財部留
美子　久村さえ子　西崎洋子
斉藤恵美子　浦口昌江　白坂好子
財部紀美子　堀　悦子　林　守
西川清補　小島利治

第11回全国青年大会へ
津奈木村青年コーラス部

農業暦

季節はずれの田植

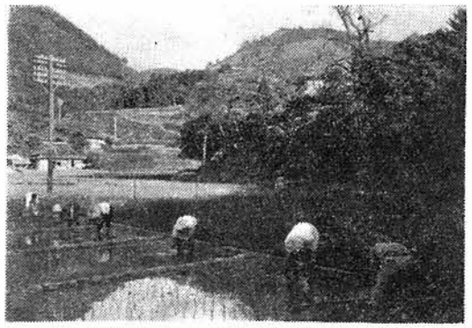
＝新除草剤試験用に＝

稲刈りを間近にひかえた去る五日、小津奈木赤松の国道寄りの水田で田植えが行われた。

これは、本年、水田に散布された除草剤PCPが有明海に流れ込み、魚貝類に大きな被害を与え、漁民たちを困らせたため、これに代って魚貝類に害の少ない除草剤を来年度より普及させるため、水俣農改普及所、津奈木村、でその試験を行うもの…。

試験田は八十平方㍍で、苗は県農試で育てたホウヨクを使用し、除草効果をみるために、試験田には、一平方㍍当一㌘の上土の種子をまいた。また減水量を調査するためアゼには、ビニールを使った試験農薬はA—一一一四、MCPCA、FW—九二五、無処理、の計四区を設けてある。

この試験は、新しい水田除草剤の効果を農家にPRするための「展示圃」と、津奈木の水田で、新しい除草剤が、どんな薬効を示すかを調査するのが目的…。

こんど、水俣農改普及所の技師たちが、一ケ月間にわたって、試験経過を調査するが、村民多数の見学を希望している。

（担当者　山内勉）